

先端技術で広がる音の未来

サウンドテクノロジー

音楽制作助ける製品開発

音楽制作や動画配信など、現代では創作活動の裾野は広がり、電子楽器や音響機器はなくてはならない存在となった。浜松市に本社を置くヤマハとローランドは、電子楽器やオーディオ機器製造などで培った技術を生かし、常に新たな製品を投入してきた。ユーザービリティを高め、多様な音楽家たちに愛用されてきた音源を引継いだ新モデルなど、現代のニーズに合わせた製品も登場している。両社は今後も技術開発により、音を用いた可能性を追求する。

40年ぶりにアナログ音源搭載

創作の可能性を拡張

ローランド

ローランドは1980年代に登場した「やお」の愛称で知られる伝説的なリズムマシン「LR-808」や「LR-909」の系譜を受け継ぐアナログサウンドと、最新のデジタル音源、サンプリング技術を融合したリズム・クリエイター「LR-1000」を発売した。同製品は「LRシリーズ」のフラッグシップモデルで、ローランドとして同909以来約40年ぶりにアナログ音源を搭載した。

機種の入手が困難となり、ローランドには「LRシリーズ」の音色再現を求める強い要望が寄せられていた。「LR-1000」は同808と909から厳選した16種類のアナログ回路を受け継ぎ、新開発のサウンドエンジンによって、ヒップホップやハウス、テクノの歴史を形づくってきた同シリーズならではの音の太さ、揺らぎを現代に引き継いだ。いま改めてアナログ音源が求められるのは、単なる懐古のためではない。音の立ち上がりや倍音のじみ、わずかな揺れが、打ち込み中心のデジタルな制作環境にアナログ独自の音質と操作感をもたらすからだ。

今回ローランドがアナログ音源を搭載したのは、過去への単純な回帰ではなく、デジタル技術が成熟した今だからこそ、アナログの質感を現代のワークフローの中で実践的に生かせると考えたからだ。ステレオサンプリングやリサンプリング、BPM同期、タイムストレッチ、非破壊スライス編集に対応。64ビットの内部200種類以上のサンプリングも活用でき、ひらめきをそのまま楽曲へ落とし込める。

シーケンサーも伝統の「LRREC」やリアルタイム録音、オフグリッド設定に加え、モーションレコーディングや再生確認設定を備え、往年の操作性を保ちながら、より自由で有機的なグルーブを生み出せる。10系統の出力端子やトリガー出力、CV入力、USB-Cオーディオ

2種類の操作モードを選択できる。URXシリーズはビット深度32ビット、サンプリングレート192kHz対応のAD/Dコンバーターと高ダイナミックレンジの入出力を備えた高音質オーディオインターフェース、USB-C端子を9系統搭載し複数のPCやスマートフォン、タブレット端末を接続できるほか、マイクロSDカードによるマルチトラック録音にも対応する。「URX44V」モデルにはHDMI入力とパススルー機能、映像をモニターへ出力しながらPCCへキャプチャーすることが可能。タッチ液晶ディスプレイ(LCD)やカスタマイズ可能な「タッチ・アンド・ターン」により直感的な操作性を実現した。CC1は音楽制作ソフトの操作を効率化する。

幅広いクリエイター支援 新型音響機器を投入

ヤマハ

ヤマハは幅広く活動するクリエイター向けの新しい音響機器として、デジタルミキシングコンソール「MGXシリーズ」4機種とオーディオインターフェース「URXシリーズ」3機種、USB-Cコントローラー「CC1」を発売した。これらのラインアップで音楽制作やライブ配信、小規模イベント、会議、設備音響など多様な用途に対応する。

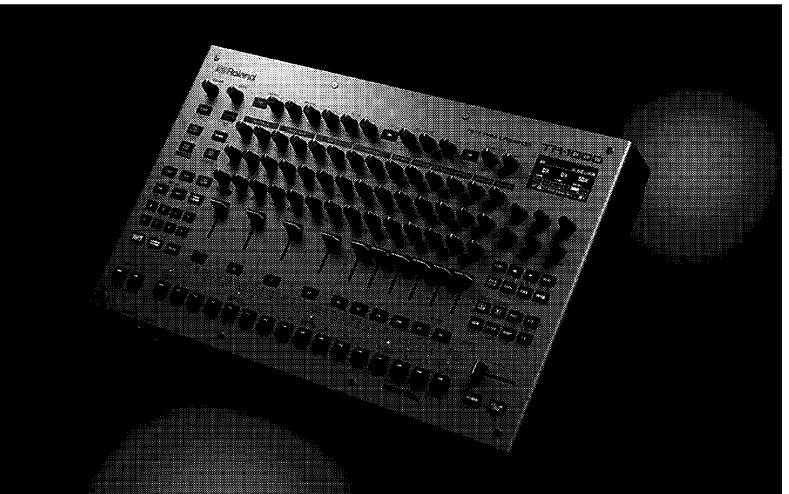
MGXシリーズはヤマハのベストセラーであるアナログミキサー「MGシリーズ」のミキシング部とコントロール部をデジタル化したデジタルミキサー。高品質なサウンドと柔軟性を兼ね備え、入出力とルーティング機能も多彩で、マイク/ラインコンポ入力や4系統のステレオ入力、USB-C接続、

近距離無線通信規格「Bluetooth」での入力、マイク/SDカードによる最大16トラック録音などに対応する。また「MGX16V」と「MGX12V」にはHDMI入力とパススルー専用の端子が搭載されており、ビデオカメラやゲーム機の映像をパソコンへ取り込みながらモニターへ出力することが可能。音声はタウニックスとして任意のチャンネルに取り込める。さらにゲートコンプレッサー、イコライザー、リバーブなどのエフェクトに加え、リミッターを防止するクリップ防止や自動で最適な入力音量(ゲイン)を設定する「オートゲイン」、アンプシミュレーター、ボイスチェンジャーなどのクリエイティブ機能も搭載。

URXシリーズはビット深度32ビット、サンプリングレート192kHz対応のAD/Dコンバーターと高ダイナミックレンジの入出力を備えた高音質オーディオインターフェース、USB-C端子を9系統搭載し複数のPCやスマートフォン、タブレット端末を接続できるほか、マイクロSDカードによるマルチトラック録音にも対応する。「URX44V」モデルにはHDMI入力とパススルー機能、映像をモニターへ出力しながらPCCへキャプチャーすることが可能。タッチ液晶ディスプレイ(LCD)やカスタマイズ可能な「タッチ・アンド・ターン」により直感的な操作性を実現した。CC1は音楽制作ソフトの操作を効率化する。



ミキサーからコントローラーまで使いやすさを追求した



アナログとデジタルが融合した音源



音響機器のラインアップを広げ、クリエイターを支援



波形編集にも対応

Roland
WE DESIGN THE FUTURE

伝説的なアナログ“TR”音源と最新デジタル技術の融合

RHYTHM CREATOR TR-1000
(オープン価格)

www.Roland.com

YAMAHA
Make Waves

1887
1960s

創業期から成長期へ
Developing, innovating and growing

INNOVATION ROAD

ヤマハは1887年(明治20年)の創業以来、現在にいたる長い歴史の中で常に新たな挑戦を重ね、この間培ってきた技術・ノウハウと感性を活かしながら、人々の心に響く新たな価値を提案し続けてきました。イノベーションロードとは、こうした挑戦の歴史の足跡と、それらを経て、これからも未来に向かって歩み続けるヤマハの“道のり”をシンボライズしています。ヤマハの世界観や魅力を伝え発信し続ける拠点として、多くの皆様のお越しをお待ちしております。

ヤマハ株式会社
企業ミュージアム「イノベーションロード」
静岡県浜松市中央区中沢町10番1号 ヤマハ株式会社本社事業所内
見学は予約制です。事前にお申込みをお願いいたします。詳しくは、WEBサイトをご覧ください。
https://www.yamaha.com/ja/about/experience/innovation-road/
電話 053-460-2010

予約制
見学無料

ヤマハ株式会社